

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	交通対策課長 田中 浩史	電話番号	0852-22-5898
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	国際チャーター便誘致事業		
目的	(1) 対象	近隣諸国への渡航希望のある県民	
	(2) 意図	国際チャーター便等の運航に対して支援し、交流人口を増やすことにより定期便の開設を目指す。定期便の開設は、アジアを中心とした近隣諸国への渡航を容易にし、県民の利便性は向上する。	
事業概要	将来の国際定期便の開設に必要な需要を創出するために、国際チャーター便の運航に対する助成や、県内宿泊する場合に海外航空会社等へ経費の一部を助成する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 インバウンド国際チャーター便運航便数	目標値		7.0	7.0	7.0	7.0	回
		取組目標値						
	式・定義 運航便数	実績値		1.0				%
		達成率		-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率		-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	888	8,185
うち一般財源(千円)	888	8,185

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- インバウンド国際チャーター便運航便数は、平成25年度から制度を開設し助成しているが、目標値に達していない。
- 平成27年度は、前年度と同じ台湾からの1便であった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

制度開設して3年経過し、台湾からのチャーター便は、毎年実施されており、平成28年度も実施が予定されている。ツアーの定着が見られる。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 運航会社、旅行会社に対する支援制度の周知が難しい。
 - 申請から補助金の交付まで時間がかかる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 海外であるため、十分な周知ができない。
 - 日本国内に代理店等が無い場合が多く、申請に補正が必要な場合など時間を要する。
- ③原因を解消するための「課題」
- 制度内容の周知強化や有効なPR方法の検討が必要
 - 申請書類を作成する担当者との早期の連絡体制の確立が必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 海外観光の誘致を担当する部局と連携して、国内外の観光情報説明会・商談会等を活用し、海外の旅行会社等に制度周知を図る。
- 早期に連絡体制を確立し、早急な事務処理を行うよう心掛ける。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)